

令和4年
(2022年)
6月

ゆりー



米原区の人口及び世帯数
令和4年5月末現在
戸数 1,076世帯
人口 2,649人
男1,309人 女1,340人

区の行事予定

6月

- 10日(金) 千尋会役員会(予定)
 - 10日(金) 審議委員会(予定)
 - 13日(月) 自治会長立候補届け出日
 - 26日(日) 自治会長選挙投票・開票
- *ミニ・デイサービスは中止

7月

- 8日(金) 審議委員会(予定)
 - 11日(月) 千尋会役員会(予定)
 - 31日(日) クリーン作業
- *コロナの状況を見て判断

今月の徴収金

区費	1,000
防犯灯負担金	150
合計	1,150円



ありがとうございます

- 3班の福地心一様(浄福寺)より、飲み物の寄贈がございました。



ようこそ☆米原へ

7班-1 仲村渠 安則様



どんぐり公園へのゴミの持ち込みについて

どんぐり公園に新しくゴミ箱を設置したところ、家庭ごみ・大量のペットのフンなどが持ち込まれるようになり、清掃班のメンバーは大いに困惑しています。ゴミ捨ての現場を四六時中監視する事は無理です。そこで、このような状況を改善するために、利用者の良心に訴えたいと思います。「ノー家庭ゴミ、ノーペットフン」。ご協力よろしくお願いいたします。皆の協力で居心地のいい公園に!!!

米原区選挙管理委員会からのお知らせ



先月号でお知らせしたとおり、現自治会長の任期が本年7月31日に満了することに伴い、米原区自治会長の選挙を行います。投票日までのプロセスは次のとおりです。

- 1、立候補の届け出：6月13日(月曜日) (午前9時～午後3時)
- 2、投票：6月26日(公民館において、午前8時半～午後5時)、17:30より開票及び公表)

※ 立候補の条件は、①米原区の自治会員(区費納入世帯及び区費免除世帯の家族)であること、②米原区に3年以上住んでいること、③満20歳以上であることとし、選挙権を有する3人の推薦人を必要とする。

※ 立候補者が2名以上の場合、一世帯一人の代表者(自治会会員)による投票を行います。詳細は別紙の、「自治会長選挙についてのお知らせ」を参照して下さい。立候補に当っては、事前に準備する書類がありますので公民館にて受け取って下さい。



米原区選挙管理委員会
委員長 石川 清勝

令和4年度区民総会の書面表決の結果について

コロナウイルス感染拡大防止のため、区の総会は今年度も書面表決となりました。5月27日を書面表決書の最終提出日と設定したところ、会員世帯281の中58通の書面回答があり、第1号議案から第6号議案まで、賛成58、反対0の意見が示されました。回答のなかった世帯については、賛成とみなすこととしてありますので、今年度の総会は成立し承認されましたことをご報告いたします。ご協力、大変有り難うございました。

区費の納入について、区民の皆様へお願い

全国に比してコロナの感染拡大に歯止めが効かない沖縄。そのような中、班長さんによる区費の徴収は休止しており、区民お一人お一人が公民館に足を運んで収めていただいております。深く感謝申し上げます。しばらくはこの状況が続くと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

また、以前にもお知らせしたように、班長さんによる区費の徴集作業がカットされていることを多くの区民が好意的に受け入れていることから、今後も現行の方法(広報誌等の配布のみ)を継続実施していきたいと思っております。(結論までには、もう少し様子を見る必要があります。)



㊦ どうーちゅいむにー

我々の紛争から見えるもの
 元々の破壊力は皆さまの
 足元にも及ばない
 権力志向の人々へ
 コロナウイルス

ゼレンスキーは誰ですか？
 プーチンは誰ですか？
 野党
 玉木デニー 県知事殿

平地元で勝つのはとても
 難しい訳さ
 沖縄県民各位
 具志堅用高

【区費一覧表】

月	区費・防犯灯負担金	募金	合計
4月	1,150円		1,150円
5月	1,150円	500円(赤十字)	1,650円
6月	1,150円		1,150円
7月	1,150円	500円(社協会費)	1,650円
8月	1,150円		1,150円
9月	1,150円		1,150円
10月	1,150円	1,000円(敬老会費)	2,150円
11月	1,150円	500円(赤い羽根)	1,650円
12月	1,150円	300円(歳末助合)	1,450円
1月	1,150円		1,150円
2月	1,150円	200円(緑の羽根)	1,350円
3月	1,150円		1,150円
合計	13,800円	3,000円	16,800円

*令和2年度に敬老会費を納めた方は10月の徴収金額は1,150円となります。(年間の合計額は15,800円)

～へー、そうだったのかー！(パート48)～
 ー沖縄の水事情、今昔ー

6月、水無月(みなづき)。今年も早いもので一年の折り返し点に差し掛かり、今は梅雨の真っただ中にある。生き物にとって必要不可欠な空から落ちてくる水素と酸素の化合物、H₂O。日照りが続くと作物に恵みをもたらす慈雨となる一方で、度が過ぎると水災害をもたらすなどバランスを取るのがなかなか難しいお相手でもある。



沖縄では梅雨の事を「スーマンボースー」と云う。「小満芒種(しょうまんぼうしゅ)」の方言で、小満とは二十四節気で5月21日ごろ、芒種とは6月6日ごろの季節をいう。このころは沖縄の梅雨でも最も雨の多い期間だと云われている。

昨年、「監督」ではなく“ビッグボース”と呼んでくれ」と日本ハムファイターズの監督に就任した「新庄剛志」氏は、記者会見でそう語っていた。開幕から約2ヶ月経った現在の日ハムは、負けが込んで成績は6球団中最下位。ビッグボースの今の心境は、スーマンボースー「(こんな成績では)済まんボース」だと日ハムファンに詫びているのかも知れない。派手なパフォーマンスが好きな氏は、少しだけ気落ちしているかも知れないが、スーマンボースーが明けたら快進撃で、宣言したとおりのビッグボースーになるかも知れない。いたずらに案ずることはないのだ。

もう一つだけプロ野球の話にお付き合い願いたい。雨が続く5月の半ば、西武ライオンズ VS ソフトバンク戦がセルラースタジアム那覇で2試合予定されていた。試合の数日前から雨続きとあって、試合が行われるか危ぶまれていたが、天気予報ではその日だけは“晴れ”マーク。果たして試合当日は、

前日までの天気が嘘のように回復し、いいコンディションの中で試合が行われた。そこでふと思い出したのが、「save for a rainy day (セイブ フォア ア レイニー デイ)」というフレーズだ。「万が一のために取っておく」という意味だが、今回のケースは、雨続きの中であってあの2試合のために“いい天気”を取っていた、と解釈できる。しかも、「取っておく」というのが、save(セイブ)で西武につながるのもピッタリなのだ。

さて、水と云えば沖縄県ではその確保に随分と苦労した歴史がある。昔、各村落には「村ガー」と呼ばれる湧水や井戸があり、人々はその水を利用してきたそう。復帰前の沖縄の水事情は、今のそれとはかなりの差があったように記憶している。大抵の家には屋敷内に井戸があり、生活用水は全てそこからの水に頼っていた。水脈からはずれていて井戸が掘れない家は、お隣の井戸から水を分けてもらっていた。水脈と同様に人脈も大事にしていた訳だ。我が家も台所の土間に設置したコンクリート製の丸い水タンクに、50メートル程離れたお隣さんの井戸から2～3日に一回水を分けてもらっていたと記憶している。運び屋は小学生だった我々男兄弟だった。数年後には我が家でも、一念発起した父親が井戸を掘ってくれたため、その労から解放された。(もちろん父親ではなく、その道の専門家が掘ったのである。)

江戸時代、石川県の加賀千代女の有名な俳句に「朝顔につるべ取られてもらい水」というのがある。朝起きて、井戸に水を汲みに行くと、つるべに朝顔のツルが巻き付いていて水が汲めな

い。仕方がないのでお隣さんで水をもらってきた、という優しい心遣いを詠んだ俳句である。心が癒されるほのぼのとする名句だと思う。しかし、我が家の井戸は、つるべ式の井戸ではなく手押し「川本ポンプ」を取り付けてあったため、「もらい水手押しポンプにさえぎられ」となり、無粋なものになってしまったのである。



時は流れ、各家庭からは井戸が消え、代わりに多くの家の屋上に貯水タンクが鎮座するようになった。一年を通しての沖縄の風物詩となっているようで、本土からの観光客が非常に珍しく思うというこれらのタンク。ウチナンチュの水に対する苦肉の策と云えるのだが、県内のダムが安定的に水を確保・供給できるようになった現在では、「断水」という言葉も死語になりつつある。水をさすわけではないが、「屋上屋を架す」ではなく、「屋上タンクを架す」が沖縄だけで通用する表現として、市民権を得られれば面白いかもしれない。

雨雲が垂れ込め、まだまだ梅雨が長引きそうな沖縄の空は、全国的にも変わっていると云える。降ってくるのは前述したH₂Oだけではない。宜野湾市や嘉手納町、そしてその周辺地域などでは晴れ上がった青空から重金属や軽金属の化合物が突然降って来たりする。この有り難くない落下物は米軍の航空機の各種部品だったり、パラシュートだったりする。文字通り、晴天のへきれきなのだ。そして、不思議なものでこれらの落下物の後には、日本政府が沖縄県に大量の福沢諭吉を降らそうとする特異な空なのである。

ーへー、そうだったんだ！ー